

春

since 1977  
195号

# 湖国と文化



## 特集 安土城を追う

湖<sup>うみ</sup>と生きる 茅葺き職人<sup>かやぶ</sup> 大野沙織さん

湖底に1万年超す縄文土器～葛籠尾崎湖底遺跡 調査成果

ウイングによる安土山図屏風の部分スケッチ(上松徹氏蔵、「古代の神々の図像」より)と「安土御天主之次第」(滋賀県立安土城考古博物館蔵、「安土記」より)

## 特集

## 安土城を追う

- 1 プロローグ  
2~9 安土城を追う~調査研究の過去・現在・未来 滋賀県文化財保護課 松下 浩  
<発掘>  
10~11 カラーインフォ地図「発掘から追う安土城」 滋賀県文化財保護課安土城・城郭調査係  
18~22 発掘85年余、安土城を追う 昭和・平成・令和 松田 篤、岩橋 隆浩、大崎 康文  
<安土山図屏風>  
12~13 カラーインフォ年表「安土山図屏風 忘却と探索の歴史」 編集室 監修・木戸 雅寿  
30~34 安土山図屏風から追う安土城 滋賀県文化財保護課 木戸 雅寿  
<安土城下町>  
14~15 カラーインフォ地図「安土城下町を歩く」 滋賀県立安土城考古博物館 藤崎 高志  
40 未完の城下町・安土 藤崎 高志  
<復元と文献>  
23~27 天主復元研究のあゆみ 松下 浩  
28~29 書き残された安土城~『信長公記』や古文書にみる 松下 浩  
<信長とは>  
35~39 変わる「信長」像~近年の研究をもとに 滋賀県立安土城考古博物館 高木 叙子

### カラーグラビア

- 58~59 祭の美 祈りのかたち ㉨ 魔除けのちまき(蒲生郡日野町北脇・中在寺 諸木神社)  
写真・文 川島 朱実  
60~61 琵琶湖センス・オブ・ワンダー ㉑ マミズクラゲ  
文・琵琶湖博物館 鈴木隆仁 写真・オザキマサキ  
62~63 万葉の旅人 ㉨ 津乎の崎 文・曲 林 博通 画・鈴木 靖将  
64~65 近江の里の仏たち ㉕ 日吉神社(東近江市) 琵琶湖文化館 和澄 浩介  
66~68 食まなび館へようこそ!! ㉒ 日常に活かしたい精進料理  
中村紀子、堀越昌子、肥田文字、鳥本登志子、写真・浅井千穂

### 連載

- 46~49 近江の懐(ふところ) ㉔ 新旭 成安造形大学附属近江学研究所 加藤 賢治 石川 亮  
50~51 ぶらり近江はっけん伝 ㉔ おさつ街道 歩くブログ記者 岸野 洋  
52~53 トムさんの日野暮らし ㉒ 歴史と暮らす トム・ヴィンセント  
54~56 歴史の玉手箱 ㉔ ピワイチの起源 滋賀県立公文書館 吉水 希枝  
75~77 古墳は語る ㉔ 近江の古墳時代 滋賀県文化財保護協会 吉田 秀則

### 話題

- 71~74 湖底に1万年超す縄文土器  
~琵琶湖の水中遺跡と葛籠尾崎湖底遺跡の調査成果 滋賀県文化財保護課 福西貴彦  
82~84 劇場へ 希望へ 誘い高らかに~「びわ湖の春 音楽祭2026」 びわ湖ホール 村島美也子

### シリーズ

- 41~45 湖(うみ)と生きる 茅葺き職人 大野沙織さん 聞き手・三宅 貴江 写真・辻村 耕司  
78~81 滋賀県の文化 えんむすび・Made in Shiga・県美への誘い・オペラ日和  
85 滋賀文化事情 2025文化で滋賀を元気に! 賞  
86~87 北から南から 大谷 隆、泉 千恵、福井美知子、大藤 寛子  
88 編集幸記(プレゼントコーナー)

---

季刊 **湖国と文化** 第195号 (1・4・7・10月1日 年4回発行)

---

発行 (公財)びわ湖芸術文化財団  
〒520-0806 大津市打出浜15-1  
電話 077(523)7146 FAX 077(523)7147  
振替口座 00910-9-310864  
<https://www.biwako-arts.or.jp>  
印刷 (株)シバタプロセス印刷  
電話 0749-63-6860 FAX 0749-62-2444

令和8年4月1日発行  
定価770円(本体700円+税10%)  
年間購読料は3,400円  
(送料込み)  
編集人 三宅 貴江  
発行人 村田 和彦

---

☆ ©『湖国と文化』記事の無断転用を禁じます。 ☆落丁・乱丁の場合はお取り替えします。